

平成27年度日本NGO連携無償資金協力署名式典

平成28年3月1日（火）、平成27年度日本NGO連携無償資金協力に係る署名式を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、隈丸優次特命全権大使と公益財団法人国際開発救援財団（FIDR）の高橋明美カンボジア事務所所長が「コンポンチュナン州農村開発事業（第3年次）」（給与限度額227,717米ドル）について、また隈丸大使と特定非営利活動法人日本地雷処理を支援する会（JMAS）の佐古壽聰カンボジア現地統括代表が「カンボジア地雷処理センター（CMAC）に対する不発弾処理に係わる能力構築支援事（第2期）」（538,322米ドル）についての贈与契約書に署名を行いました。

FIDRの案件では、コンポンチュナン州2郡で農家約5,900百世帯を対象に「米の生産性向上と営農の多様化」、「保健衛生や栄養に対する意識向上」、「ネットワークの構築を通じた貧困削減と食料・栄養安全保障」を目指し、2014年から活動を行っています。最終年度にあたる第3年次では、事業終了後における効果の持続と地域の自立発展を促すことが期待されています。

JMASの案件では、CMACの処理チームや教官要員のさらなる能力向上がカンボジア全体の不発弾処理を加速化させることで、地域住民が不発弾の恐怖から開放され、生活の安定や生活環境の改善、地域コミュニティの更なる発展につながることを期待されています。

式典では、隈丸大使がスピーチを行い、今回の支援が対象地域の住民に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いてFIDRの高橋カンボジア事務所所長及びJMASの佐古カンボジア現地統括代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。



(隈丸大使と国際開発救援財団の式典出席者)



(隈丸大使と日本地雷処理を支援する会の式典出席者)